研究内容（200字）

私はゼミで日本語教育学の音声学について研究しており、音声による聴覚印象の変化及び留学生向けの発音実践に取り組んでいる。日本語学習者が発音上の問題から低く評価され、本来持つ力の発揮ができなくなり、活躍する場を喪失する恐れがあるという問題意識から、より聞き取りやすい音声の特徴を明らかにしたいと考えるようになった。新規性の高い研究であるため、主体的に行動し考える力が身についた。

これまでの経験で、自身で最も"挑戦した"と思えることは何ですか？

※周囲を巻き込んだ・チームで取り組んだことがあれば優先してお聞かせください。

（400字以下）

SNSアカウントを設立し、フォロー数を大幅に増加させたことである。大学時代に中国最大のインスタントメッセンジャーアプリで公式アカウントを立ち上げ、日本語の勉強や日本文化などの内容の発信を始めた。しかし、ある時フォロワーが500人からほとんど増えず、伸び悩んでいた。そこで、発信頻度の低さとプラットフォームの制限に課題を感じ、以下の2点を試みた。①仲間を加えてチームを立てようと考え、先輩や後輩、日本人の友人などに声をかけ、計12名のチームを立ち上げ、毎日コンテンツを発信するようにした。②チームメンバーで話し合い、ほかのプラットフォームでも宣伝しようという案が採用され、音声配信アプリでもコンテンツを発信した。3か月後、この案が功を奏し、フォロワー数が3000名を超えることができた。このような経験から、私はチーム活動においてメンバー1人1人の意見に耳を傾け、尚且つ実行に移すことの大切さを学んだ。

あなたが今回選んだ職種（営業・スタッフ・ＳＥ）に応募した理由とその職種を通じて当社入社後に実現したいこと、期待することを教えてください。（400字）

私はIT技術を駆使し、情報弱者を無くし、より暮らしやすい社会を作りたいという思いからSE職を志望している。このように考えたきっかけは、学生時代の外国にルーツを持つ子供を対象とした日本語教育実践の経験にある。ボランティアとして子供に日本語を教えていた際に、日本語教室の場所や開催情報などがまったくIT化されておらず、外国人のコミュニティの中において口コミという形で情報が共有されていた。このような経験から、ITの力を通じて取り残されている情報弱者を少しでも減らしたいと考えるようになりました。

入社後、まずは横断的に業界を経験し、専門的な技術知識やプロジェクトマネジメントの経験を積み、顧客課題に対して本質的な提案ができるSEへと成長したい。その後、地域社会分野関連のプロジェクトに参画し、地域社会における情報弱者を無くし、誰もが生き生きと暮らせる社会づくりに貢献したいと考えている。